No.	006	_	1001 事務事業名 交通災害共済事業						細事務事業名 交通災害共済事務 公的関与 7											
	課	名	社会福祉	:課 6	係		名 社会福		電話者	番号 08		89-964-4406		メー	メールアドレス		syakaifukushi@ci		toon.ehime.jp	
TLAZ	事業	区分	ソフ	'卜事業		事業運営	'方法	一部委	託	ミ施計	一画	非該当	事:	業期間	4	年度	~ 年	度	期間設定なし	
	総合計画		政策目標 第2	章 みんながえ	元気になる	る健康福祉のまち 政策項目 6 社会係			障の充実				主要	施策			,			
	事業の対象		市民							根拟	L法令	愛媛県	十 町糸	総合事	事務組合交通災害共済条例					
	事業の目的		最終的 交通事故により災害をうけた市民を救済するために事業を実施することで、住民福祉の増進に寄与します。								今年度 制度の周知、加入促進に努めます。									
	活動内容		① 制度の周知、加入促進								4)									
			② 加入者情報、掛金に関する事務																	
			③ 見舞金請求に関する事務																	
	成果指標		指標名			計算式又は指標設定理由				単位		平成 2	4 年	度 平成	25 4	年度	平成 26 年	度	最終目標	
						年度末 加入老粉 / 人口					目標	_	-		7		7		40	
			7,117 C			加入者数/人口 年度末				%	実績目標	22			21					
			加入率(組力	[]入)	入)		: / 人	, 🗆	1			_			7				40	
							,)	(組加入)			実績	24	4	_	23					
			加入率(組オ		加入)		: / 人			%	目標								40	
			A =1			(組未加	入)	(組未力			実績			.,	14					
0 0	予算費目 直接事業費		会計	- b		般会計	A-A-	D	費目名		. Arter	— _D	民/				費			
				平成	24	年度決		平成	25 全	■度決		平成	26	5 年	度予算		備		考	
			国・県支出金	仓			千円				千円					千円				
			地方債				0 千円				千円				0 千円					
			その他特定財法	原		324 千円			316 =					313 千円						
			一般財源				千円				千円				104 -					
			計(A)		-		千円				千円			1	417 -					
	人件費(B) 全体事業費		正職員工数・経費		- '	1,258		0.208	人 —		千円	0.208		. 1	,251 -					
			臨時職員工数・経	費 0.000	人		千円	0.000	人		千円	0.00) 人			千円				
			責(A+B)		•	1,639	千円			1,661	千円			1	,668 -	千円				
	一次評価者		社会福祉	計	価点	D /T	必要		有効性			戊度 2		率性			の方向性	方	法改善	
	項目				評 ———	価	項 ——	目(の 訪	t	明	(一次	評価?	首のコ	メン	<u> </u>				
	必要性		多種の民間保険制度が充実しており、公共の共済制度の必要性が低下してきています。一方、高齢者や子供等、民間の保険に加入していない 方については必要性が認められるため、ニーズを把握し、継続または廃止の判断の必要があります。																	
OIL	有効性	民間の	民間の保険に加入していない方や、治療が長期にわたる方等を救済する制度としては意義があります。																	
ECK	達成度	加入率	加入率が低下しており、今後も広報の方法等を検討し、加入促進を続けていく必要があります。																	
A C	効率性	改善を	をする必要があ						がやや改善されましたが、より安定した運営のために運営方法の検討、 なことですが、加入率は低下しており、特に組未加入世帯の加入率が低											
T	当面の課題	りいことから、更なる広報の方法を検討 もあります。				付し加入促進を続ける必要があります											続または廃止を検討する必要			
0 Z			志や市ホーム〜 送時にもパンフ	アレットを同	封し、制												組未加入世	帯への	の加入申込	
	二次評	F価者	社会福祉記	^{果長} ┃総 評	合 価点	D	必要	更性 1	有効性	3	達原	戊度 2	刻	率性	3	今後	の方向性	方	法改善	
	-	マ評価で 諸摘事項			の強化			• • • • •	図の増加(こは繋	ぎがつ	ていませ	んので	で、引き	続き周	男知の)徹底を図る	とともり	こ、制度の	